

学校だより



平沼

横浜市立平沼小学校

平成30年 5月 1日

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranuma/>

4月のすてきな子どもたち



校長 長谷川 絹子

桐の紫の花が正門横に咲いています。古木ですがたくさんの花を咲かせており、久しぶりに桐の花を見ました。校庭では、真っ白なかわいい夏みかんの花も咲き始めました。

横浜中心地にあり、高層マンションやビル、大きな道路や鉄道、ガスタンクに鉄塔、商業施設に企業等々に囲まれた都会の学校ですが、校内は自然がいっぱいです。柿、栗、梅、キンカン、枇杷、杏、梨、姫りんご、桑…実のなる木や桜、銀杏、欒、楠、コブシ、泰山木、ハナミズキ、紅葉、クチナシ、金木犀など代表的な樹木はほぼそろっています。さらに、二宮尊徳像、記念碑、池（オタマジヤクシが泳いでいます）、藤棚、ブドウ棚など、近年珍しくなっているものも設置されています。こんなに充実した環境に驚くとともに、今まで平沼小学校を創り上げてきた方々や地域の方の思いが重なり、「伝統ある学校」を改めて感じています。ちなみに桐の花言葉は「高尚」だそうです。

子どもたちの素晴らしさにもたくさん出会うことができます。2年生の教室を訪れると休み時間で、何人かの子どもたちが集まってきました。そして、ある子が「校長先生、靴ずれがあるね。」と言うのです。よく考えると確かに数週間前の古傷があり、ほぼ靴に隠れているはずですが、その子は少しだけ見えている傷の痕を発見したのです。すごい観察力をほめながらも、私はじっくり観察されていることにあせりました。また、ほかの子が、顔にほくろがたくさんあるというので、それはほくろではなくて…と言うと、「シミだよ！」という声が聞こえてきました。子どもたちは新しい校長に興味津々です。

初めて出会ったことやもの、ひとに関心をもち、じっくり観察し、気づきから自分の課題を設定し解決していく…これは学びの基本です。目をキラキラさせながら対象物に向かっていく姿を大切にしたいと思います。

4年生の教室では、応援団になりたい子どもたちがその思いを主張する場面に出会いました。「平沼カップを盛り上げたい。」「今まで、応援団に応援してもらって力を出してきた。今度は自分が応援していきたい。」など、熱く一生懸命に学級に伝えていました。根拠や目指すものをしっかり考えている姿を頼もしく感じました。しかし、その中には、か弱く小さな声でたどたどしく一生懸命にアピールする姿もありました。一見、応援団には消極的なのではないかと思ってしまう子が、実は、みんなのために頑張りたい、自分を強く表出したい、という思いを内に秘めていたのです。それを今、精一杯主張している様子やそれを温かく見守っている周りの子どもたちに胸が熱くなりました。

5月26日の「平沼カップ」に向けて、活動的な面だけでなく子ども一人ひとりの内に秘めた思いにも寄り添いながら、練習や準備を進めています。「頑張ってたよ！」と子どもたちの笑顔が輝きますように、保護者や地域の方々にたくさんの温かな声援や拍手をおくっていただけますと幸いです。